

アートのなぞなぞ — 高橋コレクション展 共振するか反発するか？ The Riddle of Art: Takahashi Collection Resonance or Repellence?

2017年12月23日(土・祝)～2018年2月28日(水)

概要

精神科医で、現代アートコレクターの高橋龍太郎氏が、これまでに収集した作品の点数は、約 2500 点に上ります。この展覧会では、高橋龍太郎氏の目を通して選ばれた、日本の現代アートのエッセンスを、謎解きのような3つのなぞにそってご覧いただきます。1990年代以降の日本の若手アーティストの作品を一堂に展示することにより、この約四半世紀の間に、日本で生まれた表現の特徴が、おぼろげに浮き上がってくることでしょう。

またこの展覧会では、「日本の古美術と 1990年代以降の日本の現代アートとは分かちがたく結びついている。」との、高橋氏の考えに触発され、学芸員が選んだ静岡県美コレクションを、同じ空間に並べて展示します。時代を超えて響き合う作品から、一見似たモチーフを表しながらも、時代と感性の違いによって、その意味が大きく異なる作品まで、解釈に広がりをもたせつつ、その関係性を探ります。高橋コレクションと、静岡県立美術館コレクション。二つのコレクションの組み合わせの妙をご堪能ください。

【このプレスリリースに関する問い合わせ先】

静岡県立美術館 学芸課 担当：川谷 承子

住所 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

TEL 054-263-5857 FAX 054-263-5742

E-Mail webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

基本情報

展覧会名 アートのなぞなぞー高橋コレクション展

会 期 平成29（2017）年12月23日（土・祝）～平成30（2018）年2月28日（水）

会 場 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

交通案内

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分。
- ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または静鉄バスで約30分。
- ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分。
- ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分。
- ・東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分。

開館時間 午前10時～午後5時30分（展示室への入室は午後5時まで）

休 館 日 毎週月曜日（ただし、1月8日（月・祝）、及び2月12日（月・祝）は開館し、翌火曜休館）
年末年始休館（12月29日（金）～1月1日（月））

観 覧 料 一般1,000円（800円）、70歳以上500円（400円）、大学生以下は無料。
※（ ）内は前売及び20名以上の団体料金 ※ロダン館・収蔵品展も併せてご覧いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

主 催 静岡県立美術館、静岡朝日テレビ

特別協力 高橋龍太郎、高橋コレクション、医療法人こころの会

企画協力 内田真由美、児島やよい／エヌ・アンド・エー株式会社

お問合せ 総務課 054-263-5755 学芸課 054-263-5857（担当：川谷）
テレフォン・サービス 054-262-3737
ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

会期中イベント

開催記念対談「高橋龍太郎氏×西尾康之氏」

高橋龍太郎氏と出展作家の西尾康之氏との対談です。

日 時: 2017年12月23日(土)

場 所: 静岡県立美術館 講堂

学芸員によるフロアレクチャー

当館学芸員が展示室にて企画展「アートのなぞなぞー高橋コレクション展」の解説を行います。

日 時 :2018年1月7日(日)、2月12日(月・振替休)

「アートのなぞなぞー高橋コレクション展」を楽しむために知っておきたい10のこと

当館学芸員による美術講座を行います。

日 時: 2018年1月8日(月・祝)

場 所 :静岡県立美術館 講座室

アーティスト・トーク:鴻池朋子氏

出展作家の鴻池朋子氏によるアーティスト・トークを開催します。

日 時: 2018年2月4日(日)

場 所: 静岡県立美術館 展示室

「アートのなぞなぞー高橋コレクション展」開催記念クラシックミニコンサート

※ このコンサートについての問合せについては、以下記載の問合せ先をご案内ください。

日 時: 2018年2月12日(月・祝) 13:30開場 14:00開演 15:00終了

場 所: 静岡県立美術館 講堂

出 演: 静岡交響楽団

定 員: 250名(募集多数の場合は抽選)

参加費: 無料

お申込み方法: 静岡朝日テレビホームページ、またはハガキでの応募

記載事項 ①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④参加人数(1通2名まで) ⑤電話番号

送り先 〒420-8567 静岡市葵区東町15 静岡朝日テレビ

アートのなぞなぞー高橋コレクション展 クラシックミニコンサート 係

※ 当選者には招待ハガキが届きます

※ 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※ 未就学児入場不可

問い合わせ: 静岡朝日テレビ コンテンツ戦略部 054-251-3407

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art



会田誠《大山椒魚》2003
©AIDA Makoto photo by 木奥恵三
Courtesy of Mizuma Art Gallery
高橋コレクション蔵



鴻池朋子《皮綴帳》2015
©Tomoko Konoike
高橋コレクション蔵



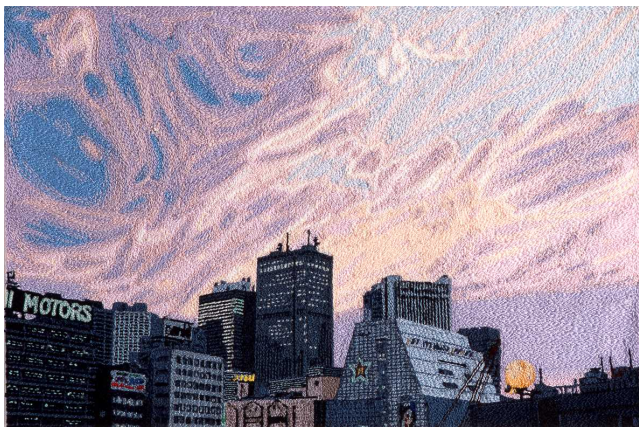
山口晃《當世おぼか合戦》1999
YAMAGUCHI Akira
photo by 宮島径
Courtesy of Mizuma Art Gallery
高橋コレクション蔵



西尾康之《素粒の鎧》1997
photo by 木奥恵三
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI
高橋コレクション蔵



西尾康之《FUJI》2013 (部分)
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI
高橋コレクション蔵



青山悟《夕暮れの新宿》2003

Photo by 宮島徑

©AOYAMA Satoru

Courtesy of Mizuma Art Gallery

高橋コレクション蔵

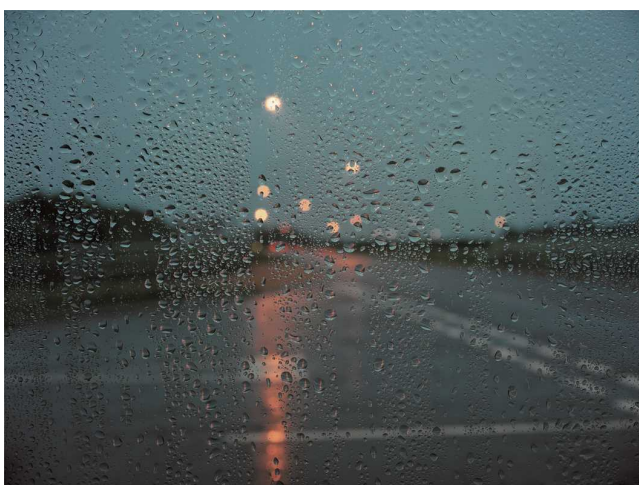


榎木知子《風鈴》2009

©Tomoko Kashiki

Courtesy of Ota Fine Arts

高橋コレクション蔵



畠山直哉《Slow Glass #095》2001

©畠山直哉 Courtesy of Taka Ishii Gallery

高橋コレクション蔵



横山大観《日出処日本》1940(昭和15年)

個人蔵



徳岡神泉《雨》1964(昭和39年)

静岡県立美術館蔵

アートのなぞなぞー高橋コレクション展 広報用画像利用申込書

宛先：静岡県立美術館 (担当) 学芸課 川谷 宛
FAX： 054-263-5742 E-mail：webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

- 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先までFAXでお申込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項をお知らせください。

【画像ご使用に際してのお願い】

- *画像データはメールにて一式送付いたします。
- *画像は本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- *使用後のデータは破棄してください。
- *画像への文字載せは不可です。
- *画像ごとのタイトルはございません。クレジットを必ず明記してください。
- *基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- *掲載後、広報担当者まで見本紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

貴社名： _____ 媒体名： _____

ご担当者名： _____ 発行・放送予定日： _____

TEL： _____ 発行部数： _____

FAX： _____ 定価： _____

E-mail： _____ 掲載予定コーナー名等： _____

連絡欄：

- ◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券
(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。

ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を 【 希望する ・ しない 】

【チケット送付先】

ご住所：〒

<広報用画像に関する問い合わせ先>

静岡県立美術館

学芸課:054-263-5857

広報担当: (総務)小澤

展覧会担当: (学芸)川谷